



横須賀市自然・人文博物館 メールマガジン 2016年7月22日号



コラボ展示「うわまち浪漫灯ろうまつり 2016@博物館」

灯ろうまつりに設置された灯ろう 20 基を館内 3 か所に展示しています！8 月 7 日まで。

URL: <http://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp/archives/news/23422>

◆学芸員自然と歴史のたより◆

学芸員自然と歴史のたより「黒船と電信機が予見した未来」

1853 年(嘉永 6 年)ペリー提督が浦賀沖に現れ、新時代の幕開けとなったことは、皆さんご承知でしょう。蒸気船が実用化され、世界中を走り抜ける時代がやって来たのです。ちなみに、黒船と呼ばれたのは、船体が黒いからです。当時日本でも知られていた防腐剤である石炭のタールを船体に塗布したので、黒いのです。

グローバルな目で蒸気船の価値をいえば、前世紀以来の産業革命の象徴です。この能力を使えば、北アメリカのカリフォルニアから 18 日程度で日本に到達できますよと、アメリカ大統領はペリーに託した手紙に書いていました。同じことを開国してから、日本へ派遣されたアメリカの総領事タウンゼント・ハリスは、最初に幕府の老中堀田正睦と会見した席でもう一度いっています。1857 年(安政 4 年 10 月 26 日)、ハリスは日米が国際貿易を開始する意義を説明しました。(1)この 50 年来、西洋世界は大きく変化しました。その原動力となったのは、蒸気船と電信機の発明です、というのです。(2)これらの発明により、世界を結ぶ距離が時間的に短くなり、交易が盛んになったために、今、西洋各国は豊かになっています、と説明したのです。もちろん、日本がアメリカをはじめ各国と通商関係を結ぶことを勧めたのです。ハリスは、近い将来、江戸とワシントンの間が、海底ケーブルで結ばれれば、ほんの一時分ほどで応答可能になりますよ、とも解説しました。

実際に、1830 年代には、既に大西洋を越えてヨーロッパとアメリカ間でケーブル敷設が試みられていましたし、1865 年には上海まで到達し、遣欧使節団も恩恵にあずかりました。1867・68 年(慶応 3・4 年)には、幕府も江戸・横浜間に電信機でつなぐことを考えましたが、

明治維新で挫折。 1871年(明治4年)には、上海と長崎間に海底ケーブルが敷設され、ついに日本はグローバルな通信網に加わったのです。現代では無線通信ですが、社会に持つ意味は150年前と同一です。

開国や国際貿易が、何を自分たちにもたらしたか！それを教えてくれる素材が多数あるのが、横須賀という街です。今は、携帯電話の開発拠点ですよ。(文献史学担当 安池)

URL: <http://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp/archives/news/23434>

◆展示情報◆

特別展示「天神島大冒険！—海とともにくらす生き物たちの楽園—」

2016年7月16日(土)～2016年9月25日(日)

天神島は相模湾に面した自然豊かな島で、自生するハマオモト(ハマユウ)が1953年に県の天然記念物に、1965年には周辺海域が県の天然記念物及び名勝に指定されました。これを受けて、1966年に開園した天神島臨海自然教育園は、2016年に50周年を迎えることとなりました。ここでは他の海岸では見ることが難しくなった海岸の希少な動植物や、豊かな海の生態系を観察することができます。展示では天神島の自然とその保全の歴史、おすすめの観察ポイントなどをわかりやすく紹介します。

【見どころ】

1) 天神島断面模型展示

天神島のおもな環境要素である「海中」「磯」「浜辺」「海岸林」を断面的にジオラマ風の模型で表現し、それぞれの環境の特徴を紹介します。

2) 天神島の水の中映像

普段はみることのできない天神島周辺の海中のようすをビデオ上映で紹介します。

3) 天神島の環境の移り変わり

天神島の周辺の環境が開園から50年の間に変わっていくようすを、航空写真のパネルで紹介します。

4) マグネットパネル生き物図鑑

環境を示した背景パネルにマグネットのついた生き物の写真を張り付け、それぞれの生き物がくらす環境を知ってもらう体験型の展示です。

5) 学芸員が教える天神島のひみつ

「地球科学」「植物学」「昆虫学」「海洋生物学」などを担当する博物館学芸員がおすすめる、天神島臨海自然教育園のみどころをパネルで紹介します。

6) 大型ウミウシ模型展示

アオウミウシ、シロウミウシの精密な5倍拡大模型のほか、天神島で見られる色鮮やかなウミウシ類の拡大模型を約20点展示します。

【展示解説リーフレット】

「天神島冒険図鑑」A2版両面カラー、50円。博物館本館2階受付で好評発売中！

【天神島臨海自然教育園キャラクターなまえ募集】

天神島と笠島をモチーフとしたキャラクターが生まれました！キャラクターたちの名前を博物館と一緒に考えてください！応募者全員にキャラクターのシールをプレゼントします。

応募方法：特別展示室前の応募用紙に記入し、応募用の箱に入れてください。

募集期間：7月31日（日）まで

発表：8月7日（日）（予定）

【特別展示解説】

8月21日（日）、9月17日（土）

14：00～15：00 本館特別展示室（参加自由）

【特別展示講演会】

「天神島—市民が守る文化財の自然—」

8月7日（日） 10：00～12：00 本館講座室（先着100人）

講師：林 公義 氏

URL：<http://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp/archives/exinfo/22814>

トピックス展示「石から鉄へ—古代の道具—」

2016年4月27日（水）～2016年8月21日（日）

石器から青銅器、そして鉄器へと人類は金属器の発明によって飛躍的な発展を成し遂げました。西方の先進地域から、横須賀に伝えられた初期の金属器がどのようなものであったか

を紹介します。

URL: <http://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp/archives/exinfo/22949>

トピックス展示「カブトムシを調べよう」

2016年7月9日（土）～2016年8月28日（日）

当館の「横須賀市カブトムシ移動調査」の結果と、様々なカブトムシ・クワガタムシの標本を展示します。

URL: <http://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp/archives/exinfo/23377>

トピックス展示「100年前—大正という時代—」

2016年8月24日（水）～2016年10月23日（日）

明治と昭和にはさまれた大正時代は、既に20世紀でした。社会にいろいろな変化が起こり、現代の感覚に近いのです。モダンなマッチの図柄もありましたが、横須賀市では神奈川県的人口増加とは異なる人口動態でもありました。そんな時代の息吹を感じてみましょう。

URL: <http://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp/archives/exinfo/23418>

トピックス展示「植物のふしぎ」

2016年9月3日（土）～2016年10月23日（日）

「実りの秋」にちなみ、植物の果実や種子を展示します。植物が子孫を残すための様々な工夫を紹介します。

URL: <http://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp/archives/exinfo/23404>

◆イベント情報◆

自然観察会「天神島の地層」

2016年9月18日（日）

事前申込制。天神島の地層を観察します。火山豆石、上下が逆転した地層、断層などが見どころです。

URL: <http://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp/archives/event/22566>

自然館ミュージアムトーク（8月）

2016年8月13日（土）

申込不要。博物館の学芸員が自然館の展示を解説します。

URL: <http://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp/archives/event/22538>

天神島ガイドツアー（8月）

2016年8月28日（日）

申込不要。天神島臨海自然教育園内の動植物や景観などの見どころを紹介します。

URL: <http://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp/archives/event/22593>

発行：横須賀市自然・人文博物館

本メールは送信専用アドレスから配信されています。

このまま返信いただいてもお答えできませんのでご了承ください。

このメールの無断転載を禁止します。

登録内容の編集・解除は下記より行ってください。

<http://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp/mailmagazine/entry>